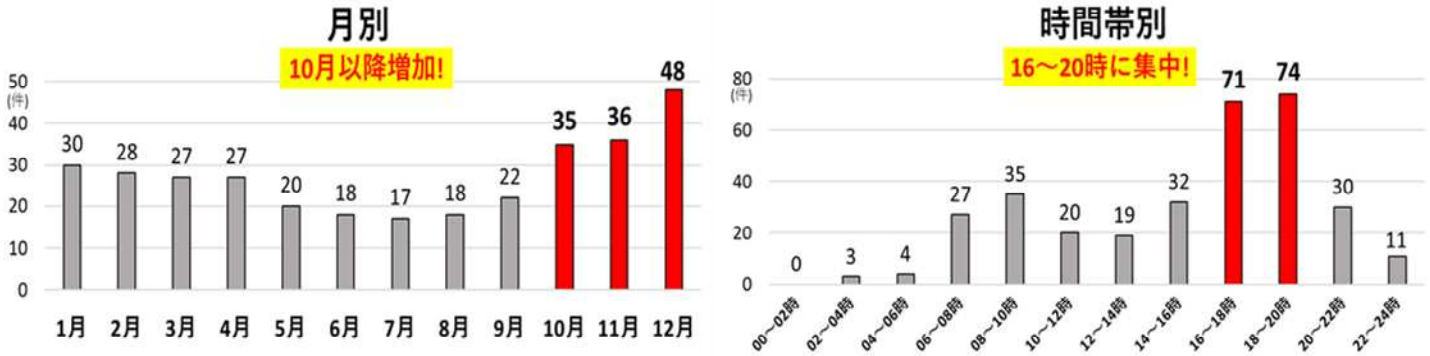


交通安全かわら版

令和5年10月
茨城県警察本部交通総務課
No. 43

～ 歩行者の交通事故防止 ～

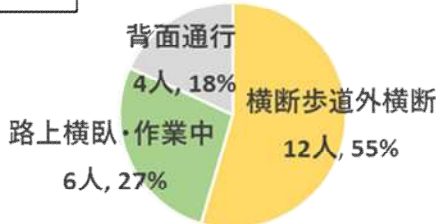
信号機のない横断歩道横断中の人身事故（平成30年～令和4年の5年間合計）



- 過去5年間の信号機のない横断歩道横断中の事故を月別で見ると、10月～12月にかけて事故が増加傾向となっています。
- 時間帯別で見ると、16～20時に多く発生しています。

歩行者死亡事故の特徴（令和5年9月末、信号機のある横断歩道を除く。）

事故類型別



横断歩道上での死者 ゼロ

横断歩道が安全

昼夜別



反射材着用の死者 ゼロ

夜間の反射材が有効

- 事故類型別死者数をみると、横断歩道外横断が12人で半数以上を占めています。
- 横断歩道上を横断中の死亡事故は発生していません。
- 昼夜別死者数をみると、夜間が17人で約8割を占めています。
- 夜間の死者はいずれも反射材未着用であり、反射材着用の死亡事故は発生していません。

交通事故を防止するために

歩行者の皆さんへ

- 横断歩道が近くにあるときは、必ず利用しましょう。
- 道路を横断するときは、必ず左右の安全を確認しましょう。車両等の直前・直後の横断、斜め横断、横断禁止場所での横断は絶対にやめましょう。
- 夕暮れ・夜間外出時は、反射材やLEDライト等を積極的に活用しましょう。

運転者の皆さんへ

- 横断歩道を横断している、または横断しようとしている歩行者等がいるときは、横断歩道手前で必ず一時停止しましょう。
- 歩行者のそばを通るときは、不意の動作に備えて安全な間隔を取ったり、徐行しましょう。
- ヘッドライトは早めに点灯し、先行車や対向車がいなければ、ハイビームに切り替えましょう。